

執行の状況に合わせた 令和2年度一般会計3月補正予算111億2623万円



①歳入と②歳出のグラフは当初予算92億2208万円との比較です。

※繰入金……会計の収支不足を補うために、他の会計や積立金(基金)から充てられる資金。
 ※繰出金……主に一般会計から特別会計に対して、不足を補うために支出する資金。
 ※更正……予算を減額すること。金額は△で表示。

条例の制定・改正

条例の制定2件

- 町議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例制定
- 町予防接種健康被害調査委員会条例制定

町が行う予防接種による健康被害が発生した場合に、適正かつ円滑な処理を図るための調査委員会を設置するのに必要な事項を定める。

町職員に限りに関する手続及び効果に関する条例の改正

地方公務員法の改正に伴い、職員の意に反する降給に関し必要な事項を条例に定める改正。

条例の改正9件

- 国民健康保険条例及び国民健康保険税条例の改正
- 「新型コロナウイルス感染症」の定義を改める改正。
- 公民館設置及び管理条例の改正
- 市川大門中地区公民館の解体に伴い条例中から削除する改正。
- 集会所等設置及び管理に関する条例の改正
- 未掲載の集会所及び自治公民館を本条例に掲載する改正。
- 介護保険条例中改正
- 第8期介護保険事業計画・高齢者福祉計画の策定及び「新型コロナウイルス感染症」の定義を改める改正。
- 指定居宅介護支援等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の改正
- 指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援

規約の改正1件

- 峡南地域教育支援センター共同設置規約の改正

峡南地域教育支援センターやまなみ教室「身延教室」の移転に伴う住所の変更。

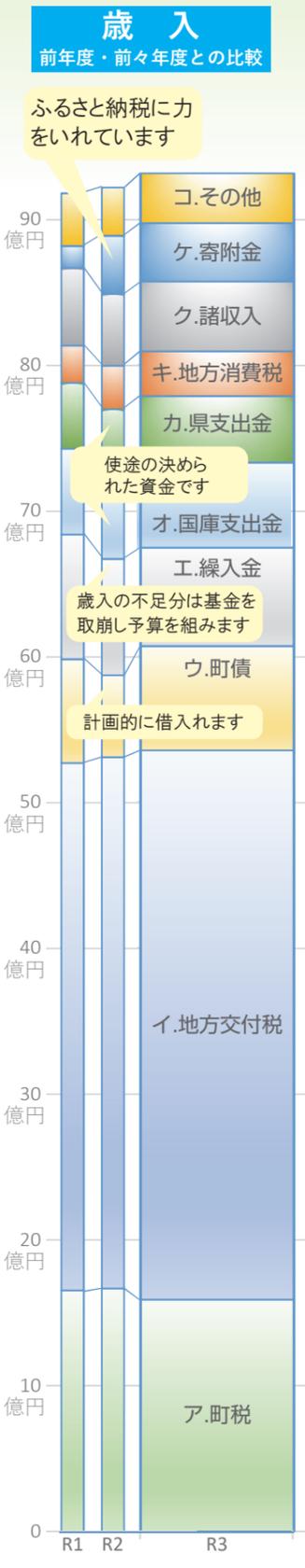
介護関連事業の運営等に関する基準等の改正に伴う改正。

指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の改正

指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の改正

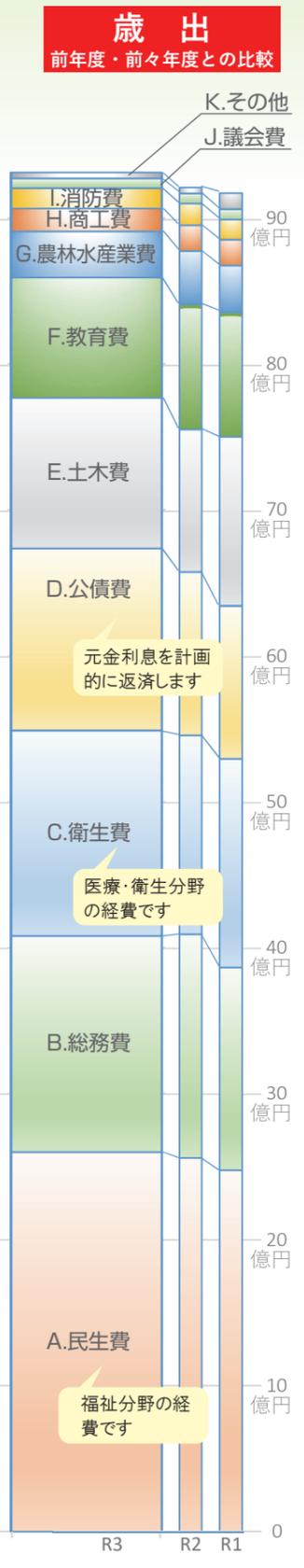
令和3年第1回(3月)定例会は、3月4日から16日までの13日間(予備日・休会日含む)にわたり開催されました。今定例会では、条例の制定・改正、令和2年度一般会計・特別会計補正予算、令和3年度一般会計・特別会計当初予算、「町民体育館コンクリート直貼り床の調査及び検証特別委員会」の設置など50件が提出され、いずれも原案のとおり承認、可決されました。

前年度から微増(0.97%増)
令和3年度一般会計当初予算93億1195万円



令和3年度 歳入の
 予算内訳と対前年度増減率
 (万円未満は四捨五入)

ア. 町 税	15億8990万円	△4.67%
(うち固定資産税)	7億5427万円	△2.68%
(うち町民税)	6億6744万円	△5.94%
(うち町たばこ税)	8213万円	△2.23%
(うち軽自動車税)	5803万円	+2.99%
(うち入湯税)	2804万円	△34.27%
イ. 地方交付税	37億6579万円	+3.32%
ウ. 町 債	7億1486万円	+26.87%
(うち臨時財政対策債)	2億7316万円	+60.15%
エ. 繰入金	6億7432万円	△15.52%
オ. 国庫支出金	5億8369万円	+6.60%
カ. 県支出金	4億5646万円	△4.95%
キ. 地方消費税交付金	3億650万円	+2.85%
ク. 諸収入	4億7899万円	△2.60%
ケ. 寄附金	4億円	+0.00%
コ. その他	3億4145万円	+3.40%
計	93億1195万円	+0.97%



令和3年度 歳出の
 予算内訳と対前年度増減率
 (万円未満は四捨五入)

A. 民生費	26億82万円	+1.50%
B. 総務費	14億8093万円	△3.52%
C. 衛生費	14億807万円	+3.06%
D. 公債費	12億4669万円	+11.17%
E. 土木費	10億3195万円	+5.54%
F. 教育費	8億2370万円	△4.09%
G. 農林水産業費	3億1599万円	△13.40%
H. 商工費	1億5748万円	△11.03%
I. 消防費	1億3858万円	△7.02%
J. 議会費	6812万円	△1.98%
K. その他	3962万円	△0.85%
計	93億1195万円	+0.97%

①歳入と②歳出のグラフは
 令和3年度(R3) 93億1195万円
 令和2年度(R2) 92億208万円
 令和元年度(R1) 91億8445万円
 3カ年の当初予算の内訳の比較です

令和3年度 一般会計と主な特別会計の当初予算額と対前年度増減率

会計名	当初予算額	増減率	一般会計からの繰入額	町債の起債額
一 般 会 計	93億1195万円	+0.97%	—	7億1486万円 (*うち臨時財政対策債 2億7316万円)
特 別 会 計				
国民健康保険(事業勘定)	16億8340万円	△8.90%	1億2941万円 A	—
国民健康保険(直営診療施設勘定)	6797万円	△9.25%	3603万円 A	—
介護保険	22億3140万円	+2.41%	3億8160万円 A	—
訪問看護ステーション西八代	3479万円	+1.60%	—	—
後期高齢者医療	2億3522万円	△5.09%	7883万円 A	—
簡易水道事業	2億4875万円	+2.83%	1億2403万円 C	3090万円
戸別浄化槽整備推進事業	1749万円	+65.24%	351万円 C	1040万円
公共下水道事業	11億748万円	+8.99%	5億3234万円 E	3億9850万円
農業集落排水事業	4880万円	+46.32%	2307万円 G	2440万円
歌舞伎文化公園管理	2769万円	+25.09%	2515万円 H	—
温泉事業	4372万円	△12.70%	3319万円 H	—
その他6件	1660万円	—	—	—
17特別会計の計	57億6331万円	△0.19%		
一般会計・特別会計の計	150億7525万円	+0.53%		
*公営企業会計				
上水道事業(事業収支)	1億8783万円	△1.09%		

一般会計の繰出金の項目
 A: 民生費、C: 衛生費、E: 土木費、
 G: 農林水産業費、H: 商工費

*公営企業会計 経営・資産等の状況の正確な把握と適切な経営実現のため、民間企業と同様の損益計算書・貸借対照表を作成する。
 *臨時財政対策債 地方交付税(国)の財源不足分を町債(町の借入れ)で調達する制度。元利償還金(返済額)は後々の地方交付税に算入される。

主な新規事業

事業名	予算額
宮原川支流河川改修事業	8000万円
消防車両整備事業	2856万円
県営たん水防除事業	2210万円
防災無線子局事業	1000万円
芦川橋西詰交差点町道改修事業	620万円
大塚古墳保護整備事業	598万円
役場本庁舎執務室照明取替事業	472万円
歌舞伎文化公園駐車場トイレ洋式化改修事業	465万円
住民票及び印鑑証明書コンビニ交付事業	350万円
防火水槽設置事業	300万円
町営墓地境界壁改修事業	204万円
高田地区公民館非常放送設備改修事業	185万円
市川南小学校児童玄関屋根防水改修事業	167万円
三珠中学校体育館トイレ排水管改修事業	150万円

主な継続事業

事業名	予算額
峡南医療センター負担金	3億257万円
一般廃棄物処理事業(負担金)	2億2426万円
ふるさと納税特産品贈呈事業	1億8992万円
籠鼻川浦線整備事業	1億1130万円
つむぎの湯・いきいきセンター事業	7727万円
子育て支援医療費助成事業	6074万円
一般廃棄物処理事業(委託料)	5864万円
放課後児童健全育成事業	5747万円
少人数学級推進事業	4395万円
幼児・児童給食無償化事業	3613万円
トンネル長寿命化修繕計画事業	3450万円
長寿・医療費給付金事業	3429万円
民間外国語指導者設置事業	2614万円
ニードスポーツセンター事業	2574万円
若者定住促進住宅補助金交付事業	2500万円
町道岩間久那土線歩道設置事業	2070万円

(万円未満は四捨五入)



常任委員会 報告

質疑の一部を
要旨のみ掲載します

総務厚生常任委員会

開催日
3/5

地域密着型サービスの人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の改正

問 「介護支援専門員である計画作成担当者に代えて、厚生労働大臣が定める研修を修了している者を置くことができる」とあるが、義務付けられていることではないのか。

渡邊福祉支援課長 職員の確保にむずかしい面があるため、義務付けではない。

令和2年度入湯税

問 多額の減額だが、つむぎの湯の休館やコロナ禍が影響しての事と思うが内訳は。

芦沢税務課長 みたまの湯は当初予算3258万円に対し1610万円の減額。つむぎの湯は当初予算1008万円全額を減額し、合計で2618万円の減額となった。

国庫補助金の新型コロナウィルス感染症対策地方創生臨時交付金

問 追加計上されているが、どんな事業を行ったのか。

一瀬政策秘書課長 商品券配布事業の一次分、二次分、マスク配布事業、子育て支援臨時給付金事業、学校給食無償化事業であり、補助金のほぼ100%をこれらに充当した。

政策推進費の帰省学生PCR検査等費用助成金

問 利用者が少ないが対象者にPRを行ったか。

政策秘書課長 メールアドレスや電話番号等の個人情報取得ができないため、町報やホームページ等での周知となった。帰省をされなかった対象者も、多くいたためである。

介護保険地域支援事業繰入金

問 当初予算と比較しても多額な減額となっている理由は。

望月いきいき健康課長 コロナ禍により総合事業の中の通所型サービスの利用が少なかったためである。

令和3年度一般会計予算歳入

問 前年度に比べ、地方交付税が増額となった理由は。

薬袋財政課長 地方交付税算定の際の*基準財政需要額の中の一つである個別経費が、全国ベースで2%ほど増額となったことなどが要因である。

***基準財政需要額**
普通交付税の算定基礎となるもので、その自治体が標準的な行政サービスを住民に提供するに必要な一般財源の額。

教育土木常任委員会

開催日
3/9

教育費事務局費補正予算

問 備品購入費減額の要因は。

望月教育総務課長 *GIGAスクール構想事業に伴い小中学生の家庭用通信設備を整備するもので、当初調査で通信設備のない家庭が210軒であったが、再度の調査では75軒となったことによる。

***GIGAスクール構想**
小・中学校の児童・生徒のために一人一台の学習用パソコンと高速ネットワーク環境などを整備する国の事業

有害鳥獣防除資機材補助金

問 令和2年度は早い時期に補助金枠が無くなった。令和3年度での変更点は。

丹沢生活環境課長 これまでは補助金上限額を1件30万円としていた。令和3年度からは上限額を5万円に引き下げ、より多くの方が利用できるように改定する。

松くい虫被害対策事業

問 被害対策の薬剤散布対象範囲は。

望月農林課長 高田浅間神社内の松くい虫被害対策である。

地籍調査事業

問 令和3年度の調査実施地区は。

農林課長 大塚地区の二ツ池・印沢・八坂を予定。

消防費

問 消防団員の報酬を増額する予定は。

塩沢防災課長 現在近隣市町村の状況を調査している。消防団員の待遇改善に向けて検討を重ねていく。

のつぱいブランド推進事業

問 事業の概要は。

農林課長 「大塚にんじん、大塚ごぼう、甘々娘、レインボーレッドキウイなど」の特産物を活用した商品の開発とともに、特産物や「のつぱい」の土地の魅力を発信していく町の事業。青洲高校生との協働による商品開発などに取り組んでいる。

芸術文化振興費

問 *大塚古墳保護整備工事の内容は。

森川生涯学習課長 近年キツネ・狸の巣穴により一部の崩壊がある。今回工事は、崩壊を食い止め現状保存を図るとともに、案内看板と階段を設置する。県文化財保存事業費補助金を活用する。



***大塚古墳**
大塚地区にある大塚古墳群（伊勢塚、鳥居原狐塚、エモン塚、大塚）の一つ。5世紀末～6世紀初めに築造された全長約40mの前方後円墳。石室から鈴鋼や六鈴鏡などが出土。「県有形文化財」指定。

子育てアプリ

問 妊娠中から子どもの成長過程を記録し、検診日や予防接種のスケジュールを管理できる「子育てアプリ」導入の見解は。

いきいき健康課長 保健師が直接ラインなどを通じてやりとりしている保護者もおり、安心感があるとの声もある。メールやフェイスブック等も活用しており、これらを含め検討していく。

いきいき健康課配置場所

問 いきいき健康課は現在六郷庁舎にあるが、町民サービスとして、福祉支援課と同一場所とするような検討は。

町長 福祉支援課といきいき健康課は関連性が強いので近くにあった方が効率的。ただ、本庁舎スペース等の問題もあり、今後検討していく。

公共下水道事業特別会計

問 下水道未接続世帯への推進対応状況は。

生活環境課長 通知発送やホームページ等での「接続依頼」を行っているが、接続が進まない状況に苦慮している。今後も生活環境の向上等に理解を求めながら推進に努める。

問 「公営企業会計」化に向けたスケジュールは。

生活環境課長 簡易水道事業と同時期に、令和6年度に移行の予定。



集会所等整備に必要な「建設基準要項」等の整備を

—「付帯設備要項」とともに、基準の制定を検討する—

高尾 貫 議員



*浚渫
河川などの底面の土砂などを取り去る。

- 1. 地域交流や社会教育に必要な集会所等の設置基準要項の制定について
- 2. 2次災害等発生させないための具体的行動策定について

〈質問項目〉

〈質疑概要〉

問 新たな集会所等の建設時の対応として、集会場建設基準（基準単価の設定・利用者人数を考慮した基準床面積・建設費用の上限基準・申請手続き・必要書類等）を明確化した「建設基準要項」の制定が必要である。また、避難所機能等を考慮した集会所等の「付帯設備要項」の制定も必要である。

町長 地域コミュニティの基盤となる自治公民館の整備は重要であり、自主的な地域活動の活性化の足かせとならないような内容として、建設基準要項の策定や付帯設備要項の設置を検討していく。

問 建設時の検討委員会の設置が重要と考えるが。

町長 地域住民による検討委員会等の設置は重要である。

問 近年は豪雨災害が多発しており、河川等の備えが重要である。特に印川、鳴沢川、山田川の河川決壊・越水対策など、一級河川への町の対策は。

町長 印川は、*浚渫等の河川改修を平成27年度から施工しており、令和3年度完成予定。

問 今後の人口減・世帯減を踏まえた現行集会所等の再編整備・広域利用等の検討を。

町長 自治公民館等の運営及び維持管理を行う地域自治組織の自主性に配慮しながら、検討していく。

問 災害時にはガレキ等の大量の廃棄物が発生する。廃棄物処理、廃棄場所等確保に関する計画は。

町長 災害廃棄物の廃棄場所の確保については、町「地域防災計画」及び「災害廃棄物処理基本計画」で町内17カ所の公有地を仮置き場候補地として選定している。発生時には、発生見込み量や必要面積を勘案し、仮置き場を決定していく。

問 鳴沢川は、浚渫工事を完了し、令和3年度より越水対策工事の検討に向け、河川改修調査、測量を行う。

山田川は現在、改修予定はないが、県で管理する12の一級河川については、日常の監視活動の中で必要な対応を求め、町としては県に対し河川改修・浚渫の働きかけを継続していく。



組合議会の報告

峡南広域行政組合

第2回臨時会 12月22日

提出議案は、専決処分1件、条例改正3件、令和2年度補正予算2件で、いずれも原案どおり承認、可決されました。

専決処分は、県人事委員会等勧告による職員給与に関する条例改正。

条例改正は、情報センター会計について「特別会計」を設置することに関するもの及び養護老人ホームの入所者減員に伴い定数を改めるもの。

一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ200万7千円を減額し、総額を18億2724万5千円とする。

介護特別会計補正予算は、歳入歳出それぞれ781万1千円を減額し、総額を2億823万2千円とする。

(報告 村松武人)

中巨摩地区広域事務組合

12月定例会 12月24日

提出議案は、専決処分2件、令和2年度特別会計補正予算1件で、いずれも原案どおり承認、可決されました。

専決処分は、県人事委員会等勧告による職員給与に関する条例の改正等。

ごみ処理事業特別会計補正予算は、717万円を追加し、総額を16億2422万4千円とする。

(報告 小川好一)

専決

本来議会の議決を経なければならない事柄について、緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認める時、地方自治法の規定に基づいて、町長または管理者が議会の議決の前に自ら処理すること

承認

専決処分を行った事柄について、報告を受け、認めること

可決

提出議案を審議し、原案のとおり成立させる議決のこと

山梨県後期高齢者医療広域連合

第1回定例会 2月24日

提出議案は、第4次広域計画の策定、条例改正2件、令和2年度補正予算2件、令和3年度当初予算2件で、いずれも原案どおり可決されました。

「山梨県後期高齢者医療広域連合第4次広域計画」は、令和3年度から5年間の計画期間とし、広域連合と関係市町村との役割分担等に関する事項について定める。

条例改正は、人事院勧告に基づく令和2年度任用職員の期末手当の支給割合の改正及び新型コロナウイルス感染症の定義の改正に関するもの。

令和2年度一般会計補正予算は、3084万2千円を減額し、総額を5億2180万8千円とする。

令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算は、8億9957万3千円を減額し、総額を1049億660万7千円とする。

令和3年度一般会計当初予算は、総額を5億2339万3千円とする。本町の負担金額は1228万5千円。

令和3年度後期高齢者医療特別会計当初予算は、総額を1054億4094万3千円とする。

(報告 高尾 貫)



ごみの減量化、ゼロカーボンへの取組みは —「食べ切り、使い切り、水切り」の 3切り運動や、リサイクルを 加速していく—

齋藤 美佐 議員

1、新型コロナウイルスのワクチン接種体制について
2、2050年カーボンニュートラルの取組みについて
3、防災力の向上について

〈質問項目〉

〈質疑概要〉

問 一人2回のワクチンの接種体制と、勧奨の計画は。

町長 いきいき健康課が関係機関と連携し、国の工程に沿って準備を進めている。接種券・予診表とあわせ勧奨の文書を送付し、町ホームページや町報・回覧も活用する。国のシステム（V-SYS）でワクチン供給及び接種者管理を一元化し、間違いを防ぐ。

問 接種会場の予診時間の短縮策や副反応への対応は。

町長 予診表の確認に専門職を配置し、三密を避け、重篤な副反応にも迅速に対応できるよう峡南医療センターと協議を進めている。

問 在宅で寝たきりの人への接種方法は。

町長 訪問診療の医師・看護師、町の保健師・ケアマネージャー等と連携し、訪問接種も含め検討する。

問 接種の相談窓口、コールセンターの設置は。

町長 担当課の回線を増やし相談窓口を増員する。県との相談窓口の周知も行う。

問 会場への交通の確保は。

望月いきいき健康課長 パス協会、タクシー協会と相談し、体制の整備を検討している。

問 カーボンニュートラル（脱炭素社会）の取組み内容は。

町長 昨年7月に「ゼロカーボンシティ」を表明。公共施設の省エネ、家庭での節電やごみ削減・分別の徹底、事業者の省エネ、学校での環境教育の推進に取組む。

問 懸垂幕を掲げて啓発を。

町長 地球温暖化は世界的な危機であり実現したい。

問 ゴみの減量化に向け、六郷モデルを導入しては。

町長 山梨西部広域環境組合への搬入を見据え六郷地区をモデルに町で統一した資源ごみ回収方法を目指す。

問 同組合11市町の中でも本町の家庭ごみは多いが。

丹沢生活環境課長 水切りの不徹底や、事業系のゴミが非常に少ない結果を踏まえ、手引きの配布など今後の取組みにつなげる。

問 避難所開設時の「初動活動ボックス」の配備は。

塩沢防災課長 避難所5カ所に受付表や看板、危険テープ、コロナ感染症の備品等を揃えて配備しており、昨年8月に訓練を実施した。

問 気象防災アドバイザーの活用を。

町長 国や県、各自自治体の状況など情報収集に努める。

〈質問項目〉

〈質疑概要〉

1 市川三郷病院の今後の方針は
2 安心できる介護保障のための町の支援策は
3 災害指定区域にある災害時における保育所の対策について
(1)危険な場所に建設されている保育所の対応は
(2)保育所施設は災害に対応できる建築物なのか
(3)洪水浸水や土砂崩落の要因は豪雨によるが緊急時の対応は
(4)保護者への連絡と子供の引き渡し方法は
4 終息が見えないコロナ禍の中で第3弾の町独自の支援策は
5 神明の花火のPR策として花火の絵を描くことを提言するが
6 町独自の空き家対策が必要と考えるが
7 失われつつある史跡を守るための町としての見解は

問 市川三郷病院の改築計画等はどのような方針で進められているか。

町長 市川三郷病院の改築と診療体制の充実は、大変重要であると認識している。早期実現に向けて、本町選出の峡南医療センター企業団議員と情報を共有しながら進めていく。

問 安心できる介護保障のための、職員処遇改善を図る町の支援策は。

町長 町に介護の相談があった時は、地域包括支援センターを中心に、丁寧な相談業務を行っている。介護職員の待遇改善は、町や県単位では解決できない課題も多く、職員の確保策と併せて近隣町とも検討していく。

問 災害指定区域にある保育所の災害時における対策は。

町長 (1)市川富士見保育所、市川南保育所の2施設。(2)市川富士見保育所の構造は、鉄筋コンクリート2階建て。市川南保育所は、大規模災害には不適合であると判定されている。(3)国及び県の指導に基づき、災害対応マニュアルを作成し、定期的な訓練を実施している。(4)連絡方法は、一斉メールの配信、緊急連絡網での電話連絡による。災害時を想定し、保護者との訓練を実施している。

問 コロナ禍における第3弾の町独自の支援策は。

町長 「商品券事業」の実績は、第1次の換金率は98.4%、第2次では98.1%と多く支援に繋がったと理解している。

問 花火資料館の場所に花火の絵を。

町長 令和2年度事業として、青洲橋そばの水道タンクに神明の花火を描いた。今後も花火大会のPRに取組む。

問 町独自の空き家対策の見解と方針は。

町長 現在実施している空き家等除去費補助金事業は、対象がDランク（解体等の緊急度が極めて高い）と限定している。今後町としての助成制度を検討する。

問 史跡を守るための施策の展開は。

町長 文化財保護審議会は15名の委員で構成。今後分かり易い冊子を作成し、町民の歴史認識を深めていく。

市川三郷町病院の建替えと、診療体制の充実は —早期に実現できるように 取組んでいく—

一瀬 正 議員





代官所跡地周辺整備の事業化への取り組み状況は

—アンケート調査や役場若手職員での素案検討などを行っている—

丹澤 孝 議員

- 1. 代官所跡地整備の事業化に向けた取り組みの状況について
- 2. 町ホームページでの民間グループの活動情報等の発信について

〈質問項目〉



町長 歴史的背景を生かした周辺整備として、手順等多方面からの十分な検討による準備が求められる。まずは、事業への理解を得るための環境作りとして、町の歴史への理解を深めるための冊子作成等による情報発信に努めていく。

町長 現在の検討状況は、

町長 事業のコンセプトの明確化や財源措置などについて、チーム作りにより検証していき、時期等についてできるだけ早く示せる様取り組む。

町長 慎重な取り組みは理解するが、近隣の方々の生活設計にも影響する事柄でもあり、可能な範囲でできるだけ早く事業化への道筋を明確化できないか。

町長 今後も多くの閲覧があるためにも、より分かり易い表示となる様工夫し、掲載する団体の範囲、情報の内容、情報の種類、情報の受取手続きなどについて検討していく。

町長 町ホームページには現在年間120万回を超え閲覧がある。民間グループに関する情報発信は、町民への有益な情報の発信とともにグループの活性化のためにも重要であると認識している。



本町の地域防災計画の見直しは

—令和3年度上期に改訂版を策定する—

秋山 豊彦 議員



〔平成28年5月策定〕
・総則編
・一般災害編
・地震編
・資料編
の編成
(A4判 470ページ)

*パブリックコメント
意見公募手続制度。
公的な機関が規則等を制定するときに、広く公に（パブリック）意見・情報・改善案など（コメント）を求める手続き。

- 1. 本町の地域防災計画の見直しについて

〈質問項目〉

町長 計画見直しのタイムスケジュールはどのようになっているか。

町長 令和2年6月より防災体制等の見直し資料の作成を開始。同年8月より改訂方針（案）の検討、10月からは計画（案）の作成を行った。今後は、今年3月に防災会議を行い、*パブリックコメントを実施し、計画策定する。

町長 見直しの主な内容は。

町長 平成30年3月、国の中央防災会議の報告を踏まえた山梨県地域防災計画の修正を受けて、南海トラフ地震関連の国、県の動向を反映する。

町長 災害時の避難場所はどのように考えているか。

町長 三珠地区19カ所、市川地区33カ所、六郷地区27ヶ所の計79ヶ所を指定。状況に応じて順次開設を行う。

〈質疑概要〉

町長 台風などの予め予測ができる風水害については、三珠地区2ヶ所、市川地区2ヶ所、六郷地区1ヶ所の計5ヶ所での開設を予定。

町長 避難場所に新体育館は指定に入っているか。

町長 塩沢防災課長 生涯学習センターとして、令和2年1月に避難所指定済みである。

町長 新体育館の床はコンクリートに6・5ミリの床が張り付けてあるだけだと聞いているが災害時に避難所として活用できるのか。

町長 防災課長 床はコンクリート造R.C・SRCを含む構造であり、避難時には段ボールベッド等を使い、活用していく計画である。

町長 避難所である町内の小中学校の床の構造はどのようになっているのか。

町長 防災課長 木のフローリングが張り付けてあり、木の床材である。体育館の構造は、通常基礎をコンクリートで打ち、基礎の上に支持脚を立てて、概ね50センチの高さに、大引と根太などの床下材を張る構造である。

町長 町民体育館はコンクリートに直貼り、小中学校の体育館は鋼製床。その違いは。

町長 森川生涯学習課長 従来の構造か新たな構造かによる施行の違いであり、生涯学習センター体育館の弾性スपोर्ट床シートは基準をクリアしている。

町長 体育館に直貼りが適しているのか。

町長 実際の数値について検証をすることで調査に入っている。

町長 町の民間グループのイベント開催や会員募集などについては、ポスター掲示や町回覧によるチラシ配布などが主となっており、周知に苦心している。

町長 町ホームページを活用しての方法を構築出来ないか。

〈質疑概要〉

町長 市川代官所跡地に建設されていた中地区公民館（寿会館）が、老朽化のため昨年取り壊された。

町長 これまでの議会質疑での代官所跡地周辺整備事業に関する町の基本的考え方は、①代官所があったという歴史的背景を生かした周辺整備の検討を行い、事業を進めていきたい。②重要案件であり、十分な検討を行い、財政状況を勘案しつつ施設整備の時期等を決定していく」としている。



笠井 辰生 議員

ICT活用授業に向け 教職員へのサポートは —各校の情報担当主任を中心に 研究と研修を進める—

〈質問項目〉

1. 学校*ICT環境の整備について
2. テレワークの導入について
3. 政策発信について

〈質疑概要〉

問 児童・生徒への一人一台端末の配布時期は。

教育長 *クロームブックは3月中旬に納品。峡南情報センター契約業者が初期設定を行い各学校には4月中旬に配付予定である。

問 学習アプリなどソフトウェアの準備状況は。

教育長 まずグーグル社の無償ツールで課題作成や採点や学級管理に対応。有償教材は今後現場の声を聞きながら精選する。

問 校内ICTインフラの整備状況と故障対応は。

教育長 大容量回線と*クラウド・充電環境等は整備済。クロームブックは1年間保証。不測のトラブルには納入業者と連携し対応する。

問 自宅待機時の職員の会議参加やテレワーク対応は。

石原総務課長 機器の用意やセキュリティの課題もあり未実施だが検討していく。

問 教員のICT活用授業の準備とその支援内容は。

教育長 グーグル社の研修プログラムの活用と併せ、推進校を定めて先行研究を進める。峡南5町での連携も検討する。

問 庁舎間の会議システムの現況と利用状況は。

町長 従来のテレビ会議システムに加えウェブ会議システムを導入。課長会議のほか、知事・首長との意見交換や、移住相談などにも活用している。

問 政策秘書課長 ダイジェスト版の回覧について検討していく。

町長 今年度4件のパブコメに寄せられた意見は2通である。

問 町ホームページの町長メッセージの周知に回覧板の活用を。

町長 回覧物をいつでも見ることが可能になるので、冊子等の扱いや掲載期間・方法について検討していく。

討論

☆令和3年度国民健康保険特別会計予算
☆令和3年度介護保険特別会計予算
☆令和3年度後期高齢者医療特別会計予算

(反対) 一瀬 正 議員
国民健康保険制度は、加入者が貧困化、高齢化している中で、国は国庫負担を抑制し続けて来たため負担増が止まらない状況

である。さらに改悪されることを考えられるため反対。
介護保険制度は給付削減、負担増の方向に向っており、低所得者、高齢者を悩み苦しめる制度である。
後期高齢者医療制度は、高齢者に対する医療サービスを差別する制度である。

問・世代内の負担の公平化、医療費の適正化がされ、国民皆保険を将来にわたって堅持するためにも必要である。
介護保険制度は、地域包括ケアシステムの推進のため、地域共生社会の実現と制度を維持するために必要である。
後期高齢者医療制度により、高齢者医療の安定的な確保が図られている。現行制度を堅持し国民皆保険を将来に引き継いでいくためにも必要な予算である。

- ## 人事
- 人権擁護委員 齋藤 和樹 氏(黒沢)
 - 日向山恩賜県有財産保護組合議会議長 北村 晴一 氏(下芦川)
 - 西日向他三山恩賜県有財産保護組合議会議長 北村 晴一 氏(下芦川)

請願

●75歳以上の医療費窓口負担2割化撤回を求める意見書」提出を求める請願
出を求める請願 (採択・賛成11 反対2)

請願者
甲府市丸の内2-9-28
勤医協駅前ビル6階
山梨県社会保障推進協議会
会長 飯塚 讓

審議結果 第1回定例会 (3月4日~16日)

専決処分の承認 2件	結果
令和2年度一般会計補正予算(第12号)(第13号)	承認・全会一致
条例の制定 2件	結果
町議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例制定	可決・全会一致
町予防疫種健康被害調査委員会条例制定	可決・全会一致
条例の改正 9件	結果
町職員の分限に関する手続及び効果に関する条例中改正	可決・全会一致
国民健康保険条例及び国民健康保険税条例中改正	可決・全会一致
公民館設置及び管理条例中改正	可決・全会一致
集会所等設置及び管理に関する条例中改正	可決・全会一致
介護保険条例中改正	可決・全会一致
指定居宅介護支援等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例中改正	可決・全会一致
指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例中改正	可決・全会一致
指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例中改正	可決・全会一致
指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例中改正	可決・全会一致
組合規約の改正 1件	結果
峡南地域教育支援センター共同設置規約の改正	可決・全会一致
令和2年度補正予算 13件	結果
一般会計(第14号)(第15号)	可決・全会一致
国民健康保険特別会計(第6号)	可決・全会一致
介護保険特別会計(第4号)	可決・全会一致
訪問看護ステーション西八代特別会計(第4号)	可決・全会一致
簡易水道特別会計(第4号)	可決・全会一致
公共下水道事業特別会計(第4号)	可決・全会一致
農業集落排水事業特別会計(第1号)	可決・全会一致
戸別浄化槽整備推進事業特別会計(第1号)	可決・全会一致
温泉事業特別会計(第2号)	可決・全会一致
歌舞伎文化公園管理特別会計(第3号)	可決・全会一致
後期高齢者医療特別会計(第3号)	可決・全会一致
峡南地域教育支援センター共同設置特別会計(第1号)	可決・全会一致
令和3年度当初予算 18件	結果
一般会計	可決・全会一致
国民健康保険特別会計	可決・賛成多数
介護保険特別会計	可決・賛成多数
介護サービス事業特別会計	可決・全会一致
訪問看護ステーション西八代特別会計	可決・全会一致
簡易水道特別会計	可決・全会一致
公共下水道事業特別会計	可決・全会一致
農業集落排水事業特別会計	可決・全会一致
戸別浄化槽整備推進事業特別会計	可決・全会一致
温泉事業特別会計	可決・全会一致
恩賜県有財産保護管理事業特別会計	可決・全会一致
市川財産区特別会計	可決・全会一致
高田財産区特別会計	可決・全会一致
大同財産区特別会計	可決・全会一致
歌舞伎文化公園管理特別会計	可決・全会一致
後期高齢者医療特別会計	可決・賛成多数
峡南地域教育支援センター共同設置特別会計	可決・全会一致
上水道事業会計	可決・全会一致
請願 1件	結果
「75歳以上の医療費窓口負担2割化撤回を求める意見書」提出を求める請願	採択・賛成多数
その他 4件	結果
区域外における公の施設の設置に関する協議	可決・全会一致
人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める	適任・全会一致
75歳以上の医療費窓口負担2割化撤回を求める意見書の提出	可決・全会一致
町民体育館コンクリート直貼り床の調査及び検証特別委員会の設置を求める動議	可決・全会一致

みんなのページ



皆さんが昔を思い出し、生き生きとした時が過ごせるよう、毎回内容を工夫しています。賢く長生きするような高齢者寺小屋や、年間の時節に応じた行事も行います。昨年はコロナ禍で全て中止でしたが、お便りを郵送してリモートサロンを実施してきました。

日 時 第3 金曜日
10:00～11:30
会 場 NPO 法人
「みんなの広場 市川三郷」
参加費 100 円
代表者 青沼茂樹



オアシス

次回定例会は令和3年6月に予定されています。

◆3月定例会の傍聴実績（のべ人数）

本会議 47人 委員会 4人

◆会議録検索システム利用件数

令和3年1月から令和3年3月まで
19,308件

※町のホームページから議会本会議の会議録の閲覧ができます。検索機能もあり便利です。ぜひご利用ください。

◆お問い合わせ

議会事務局 TEL 055-272-1108

御幸祭

毎年4月の
第一日曜日
開催

（昨年・今年
は中止）

昔の御幸祭風景（撮影年不明）
木製の芦川橋の上で鈴なりの人々が見物



約800年前から続く別名「神輿の川渡し」と呼ばれる勇壮な祭典。表門神社（三珠）から御崎神社（市川大門）までを神輿が練り歩き、神輿を担いだまま芦川を渡る。山梨3大奇祭の一つ。神輿が川を渡るのは、寛永20（1643）年甲斐に流され、一時薬王寺に住んでいた後陽成天皇の第八子の八之宮良純親王が、橋の上で神輿の渡御をご覧になっていたため、遠慮して川に入ったのが始めとされる。

編集後記

聖火リレーがいま国内を縦断しています。本町には6月26日（土）のお昼に役場・青洲高校前の約1kmを15分間程の通過予定です。テレビや新聞では、にこやかに走る聖火ランナーが報じられていますが、SNS等への投稿映像をみると、五輪スポンサーのパレード車両が何台も大音量で先導しているようです。主役を引き立ててこそその演出であってほしいものです。

新型コロナウイルスの接種も始まります。先行する国々のデータからは効果が明らかですので、混乱なく順番に接種が進み、感染の沈静化に繋がるようお願いしております。（記 笠井 啓）

議会広報編集特別委員会

委員長
副委員長
委員

小川好一
丹澤好一
秋山好一
笠井好一
斎藤好一
川崎好一
朗佐好一